

2017/4/24

(日々雑感 88)



以下は完全なフィクションです。

北の国の王朝の御曹司の亡命はほぼ間違いないと思います。

問題は時期です。

ミサイル発射や原爆実験を行うか否かは分かりませんが、示しをつける為の米軍の空爆かミサイル発射が行われる前か後かで、株価の動きがまるで違います。

前なら急上昇。後ならどかんと下がり、しばらくしてから上昇。実際に本気の戦争が始まれば、ドッカンと下がったまま。

何も起こらないあるいは何もしないままにあの刈り上げ君が静かに亡命するのは、闘わずして逃げ出すことになり、メンツが立ちませんから、恐らく一発ぶち込まれた後、隣の国へ亡命というのが、一番確率が高い気がします。

そうして、その何年後か何ヶ月後かは分かりませんが、その某国の秘密機関によって、人知れず消される。

そんな筋書きが浮かんできました。